

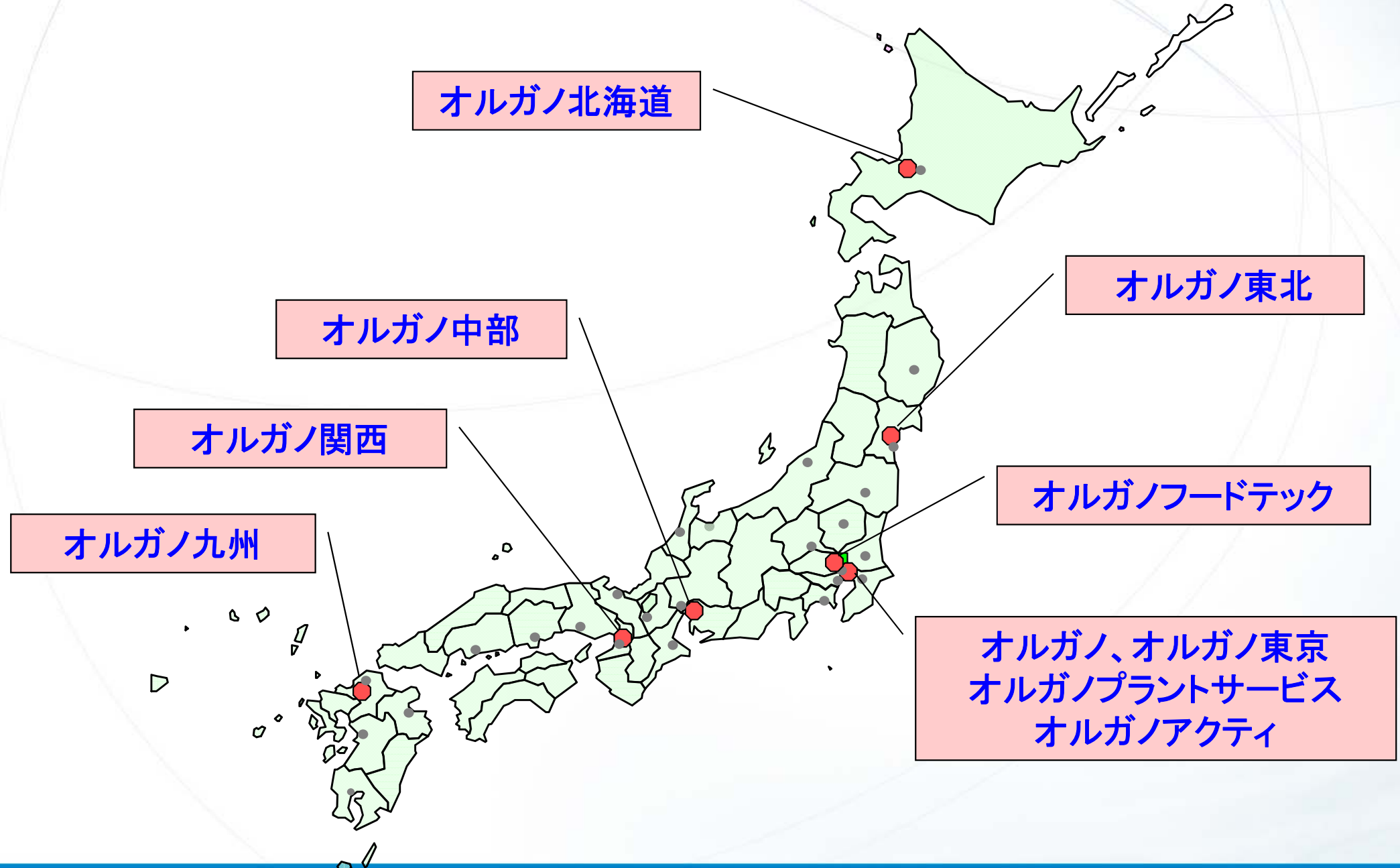
オルガノ株式会社
2014年3月期
第2四半期決算説明会
(2013年11月7日 16:00~)

2014年3月期 上期決算報告 及び 通期業績予想

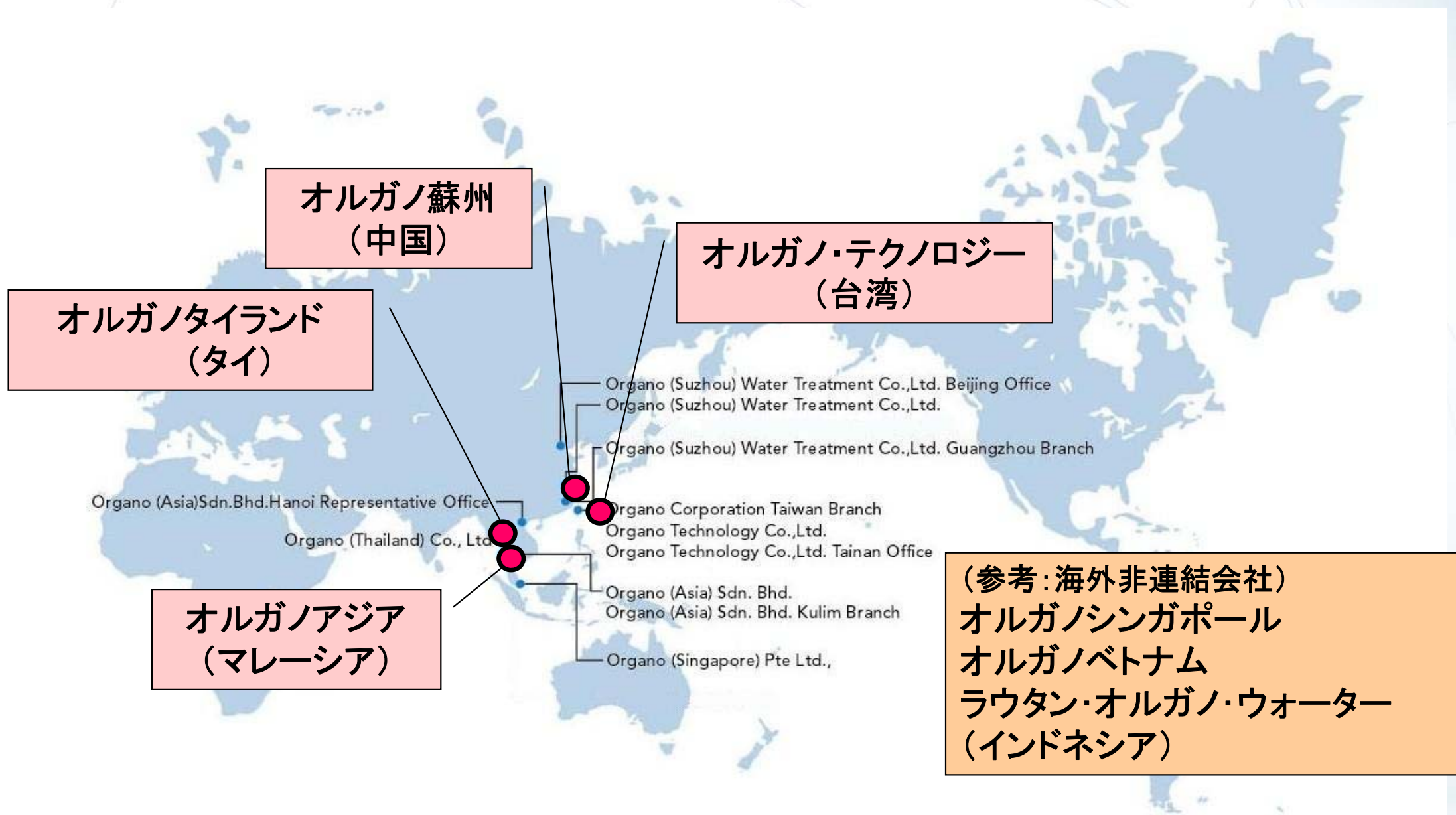
代表取締役社長

内田 裕行

連結対象グループ会社(国内)



連結対象グループ会社(海外)

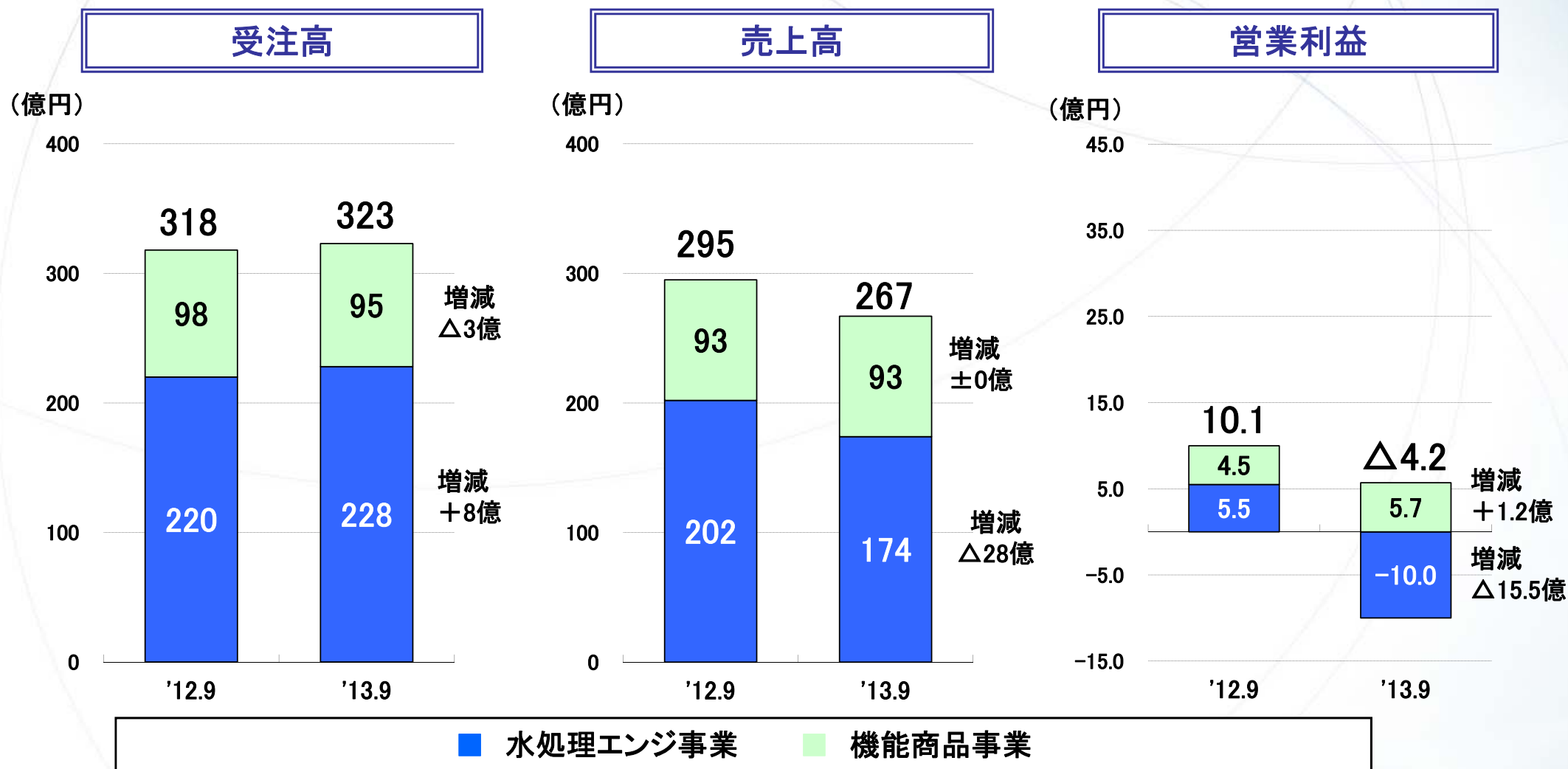


2014年3月期 上期実績

(単位:億円)

	12.9 実績	13.9 計画	13.9 実績	前期差	計画差
受注高	318	340	323	+ 5	△ 17
売上高	295	300	267	△ 28	△ 33
売上総利益 (%)	75 (25.7%)	68 (22.7%)	64 (24.1%)	△ 11 △1.6pt	△ 4 +1.4pt
販管費	65	66	68	+ 3	+ 2
営業利益	10	2	△ 4	△ 14	△ 6
経常利益	10	1	△ 2	△ 12	△ 3
当期純利益	6	0	△ 1	△ 7	△ 1

2014年3月期 上期実績(セグメント別)

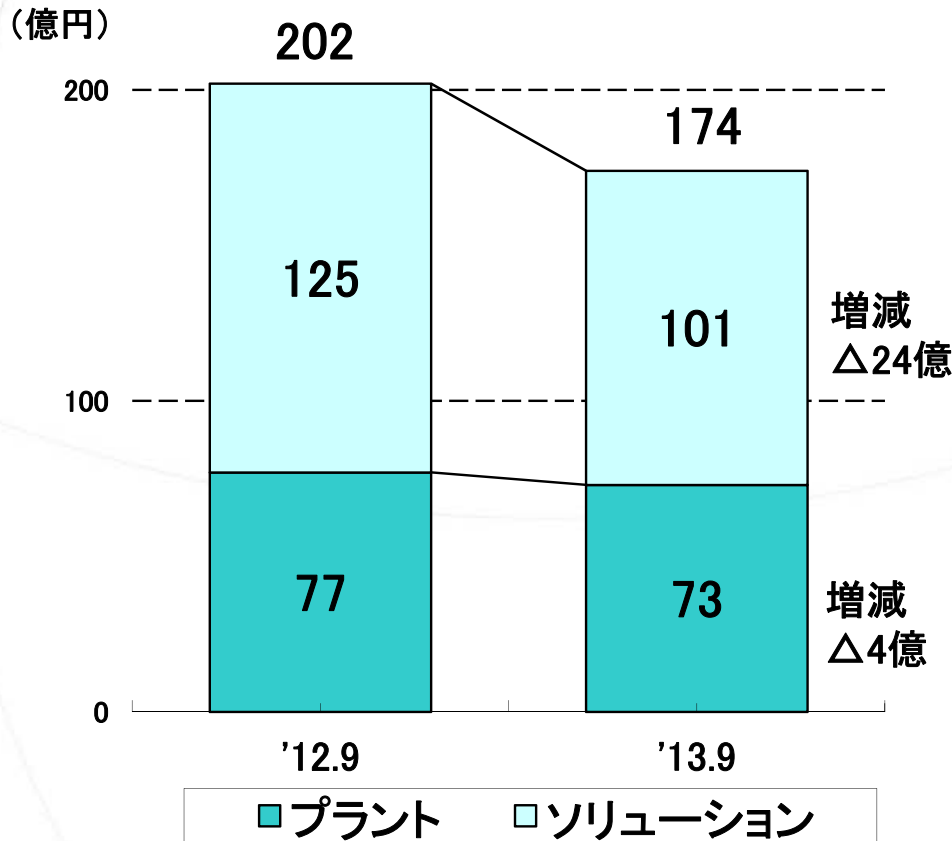


【水処理エンジ事業】：受注高については主に海外電子産業向けで増加、売上高については海外産業全般で増加した一方、国内では電力分野をはじめとする産業全般で減少した。営業利益については売上高の減少や売上構成の変化、採算性の低下などにより減少した。

【機能商品事業】：受注高、売上高共に前年同期並み、営業利益については採算性の改善により増加した。

部門・顧客別売上高(水処理エンジニアリング事業)

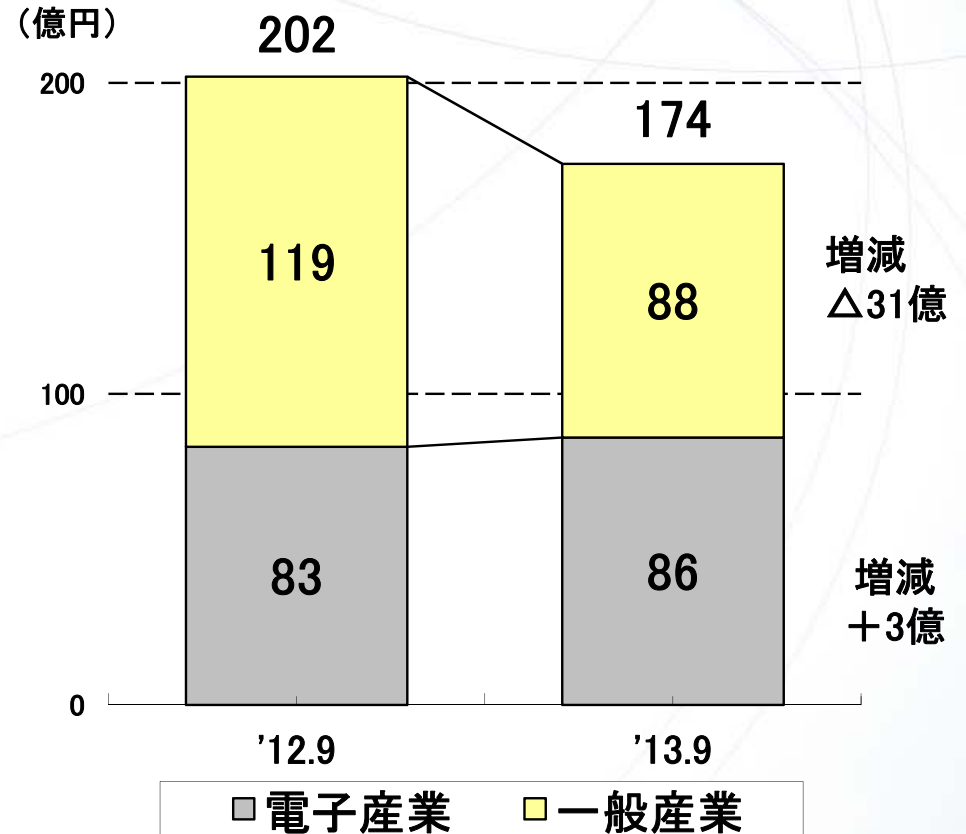
部門別売上高



【プラント】:国内電子産業向けプラントの落込みや一般産業向けプラントの下期への案件延期などにより減少した。

【ソリューション】:電力分野の落込みの影響を受け減少した。

顧客別売上高

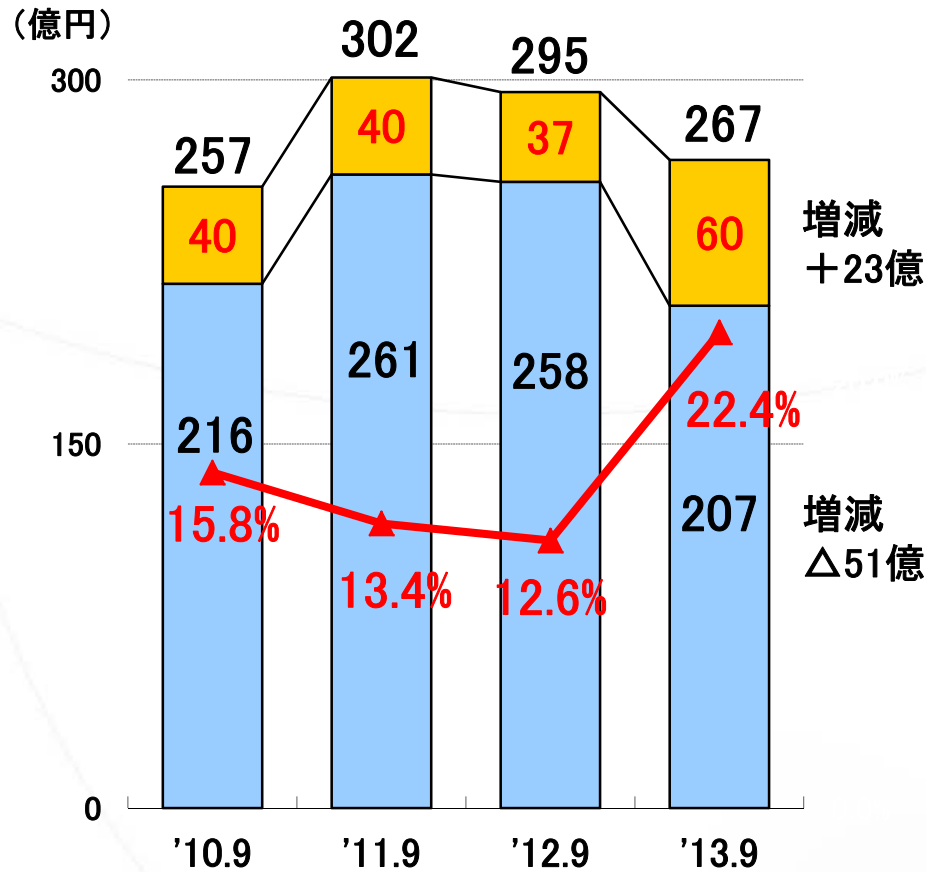


【電子産業】:国内で減少したが、海外ではプラント・メンテ共に増加した。

【一般産業】:国内外の食品向けプラントや環境分野で伸長したが、電力分野の落込みの影響を受け減少した。

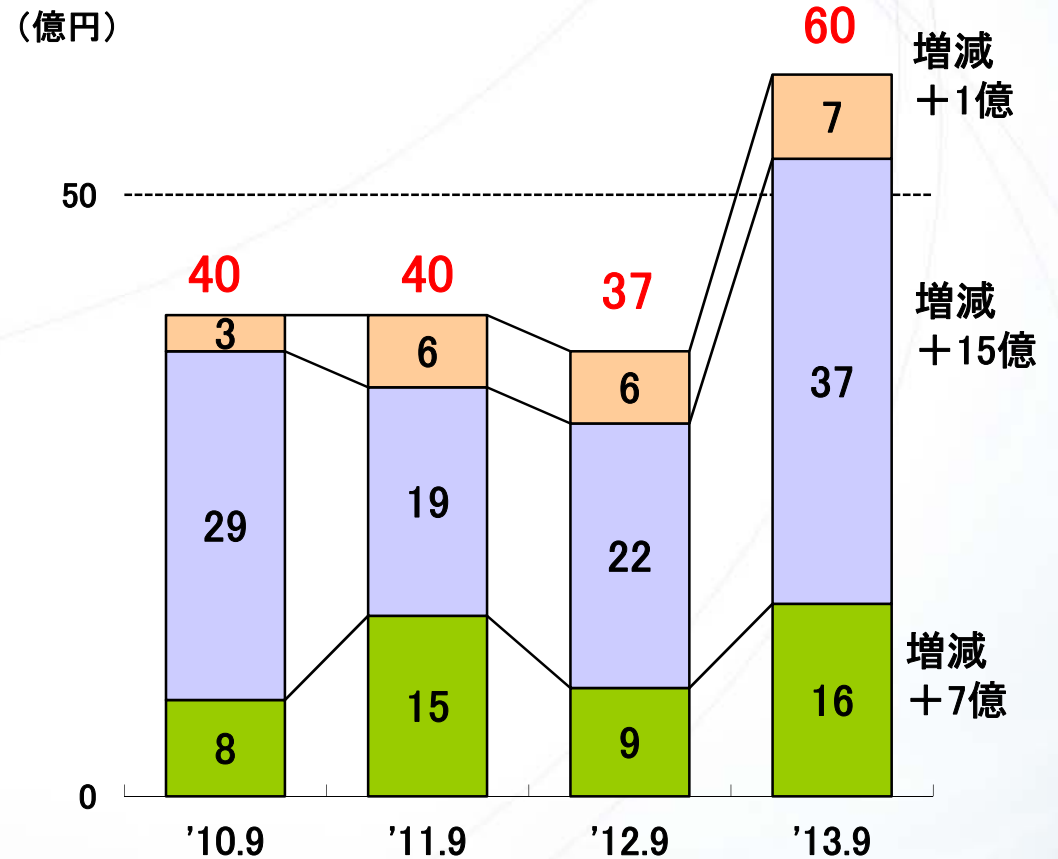
地域別売上高

国内・海外別売上高



国内 海外 海外比率

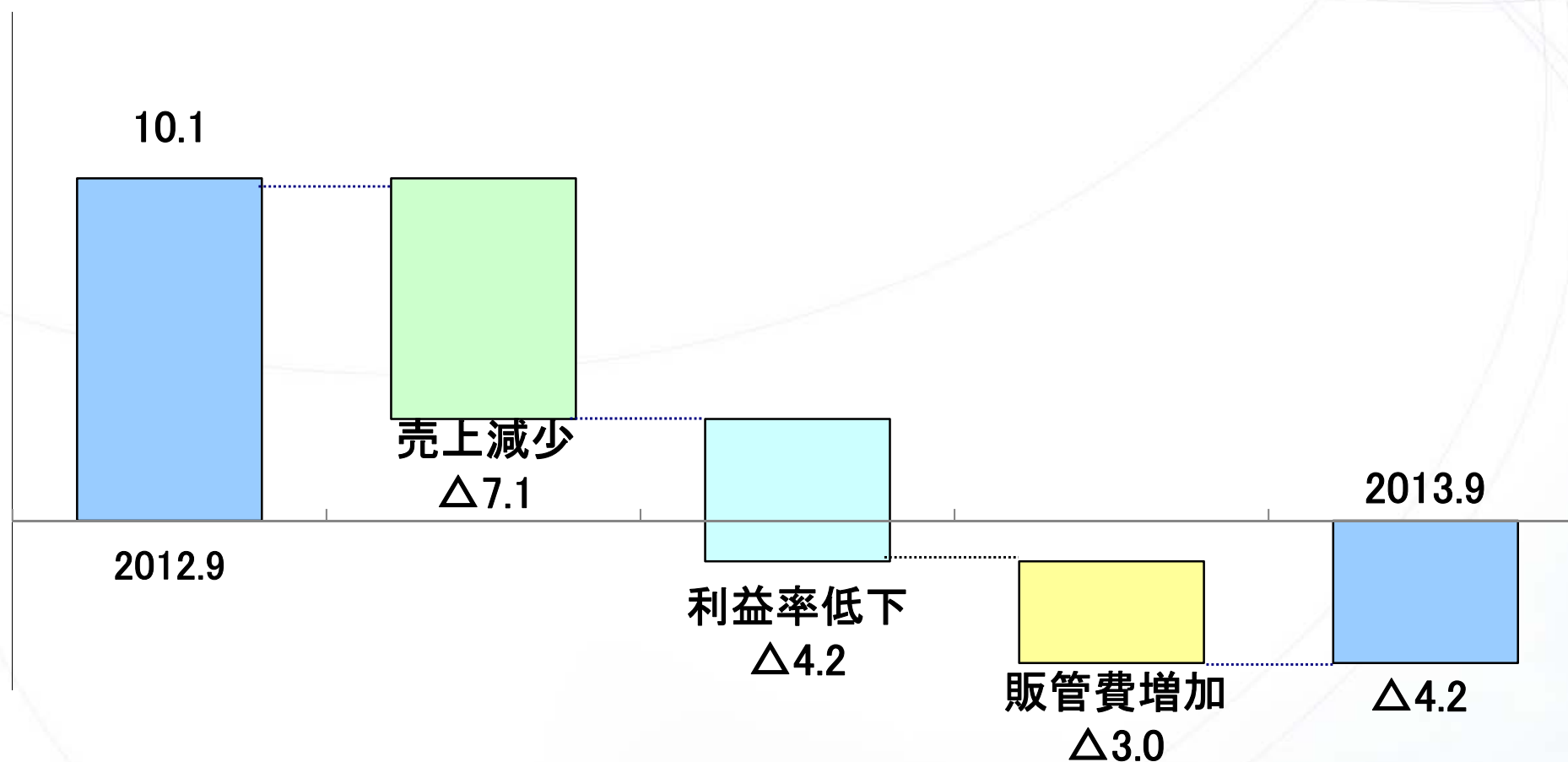
海外地域別売上高



東南アジア 台湾 中国

2014年3月期 上期営業利益分析(要因別)

(単位:億円)



※売上減少と利益率低下は、売上総利益率を用いて算出しています。

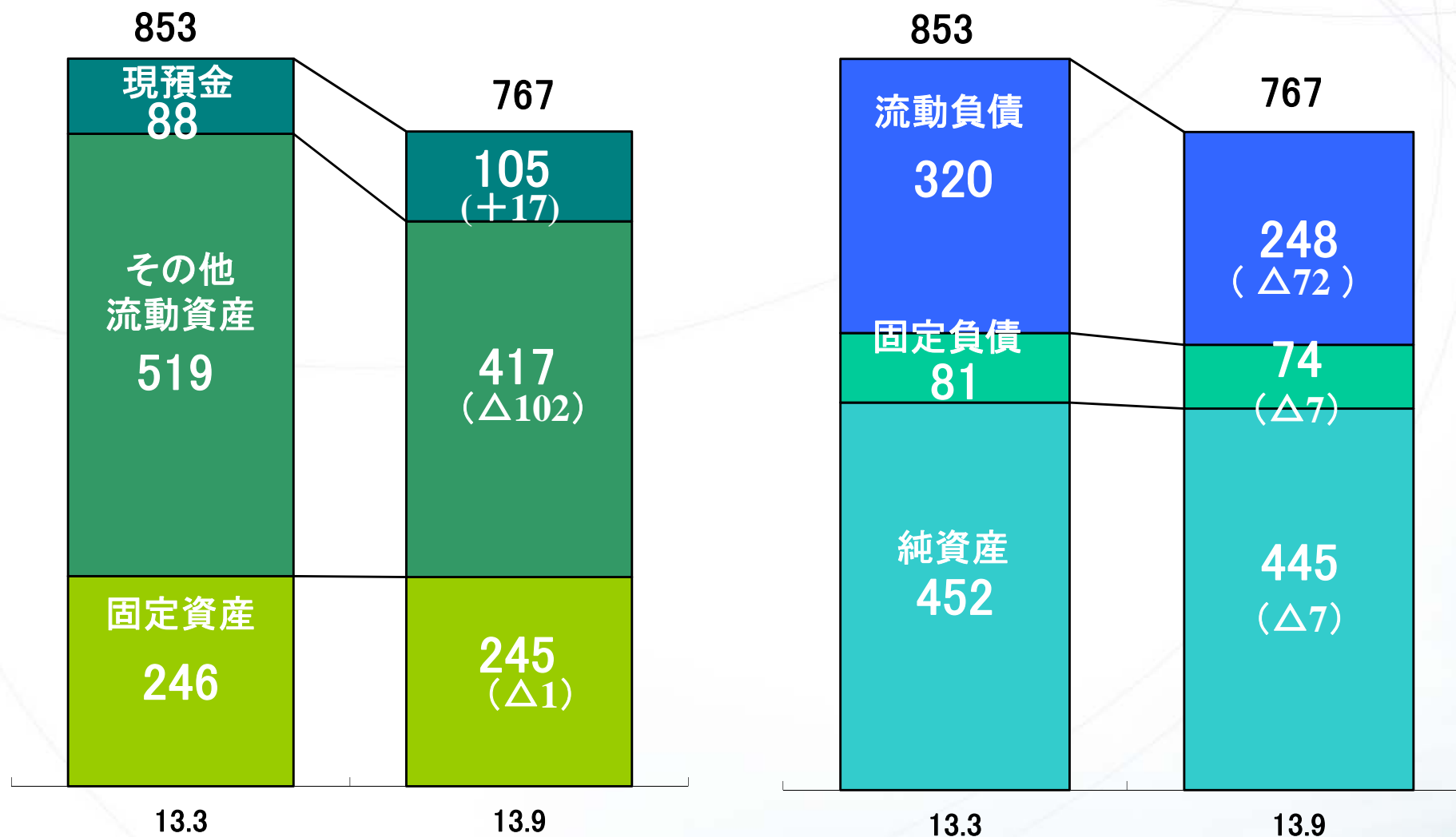
貸借対照表

資産の部

負債・純資産の部

(単位:億円)

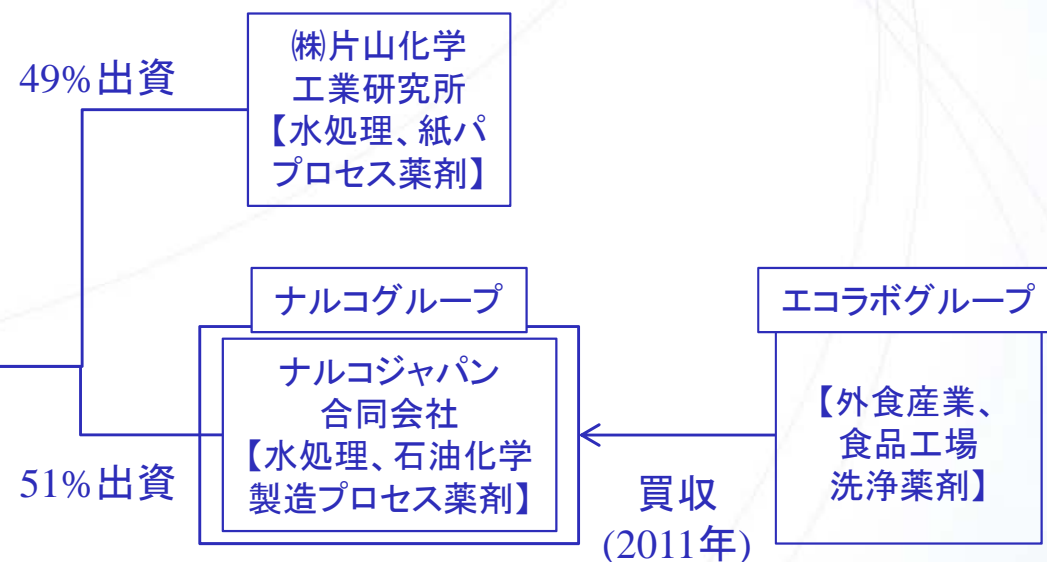
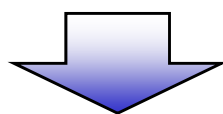
(単位:億円)



上期の主な取り組み

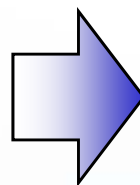
◆ 薬品事業における片山ナルコ株式会社との業務提携 (2013年7月9日契約締結)

主力製品	
オルガノ	複合処理剤 排水処理薬剤
片山ナルコ	鉄鋼・石油化学・紙パ向け プロセス関連薬剤



【ねらい】

商品ラインアップ拡充など
相互補完した営業展開



【目標】

2015年度売上高
+20億円の薬品事業拡大

上期の主な取り組み

◆RO浄水システム「オスモピュア」の一般消費者向けレンタルサービス開始

- 活性炭＋RO膜による水道直結型浄水システム
- 本体装置を無料レンタル（カートリッジのみ購入）
- ウォーターサーバーに比べ安価・低環境負荷
- 生菌抑制機能搭載



上期の主な取り組み

◆排水事業の強化

- 排水統括部の新設(2013年4月～)
- 製品・技術のラインナップ拡充及び拡販
 - 流動担体型嫌気排水処理装置
 - MBR法(膜分離活性汚泥法)「OFASシリーズ」
 - 高速加圧浮上装置 など

ねらい

電子産業 / 国内 / 純水



事業ポート
フォリオ転換

産業全般 / 海外 / 純水・排水両輪

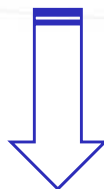
- ◆ 排水処理技術の統括・整備、
拡販・新技術開発戦略の策定
- ◆ 化学、食品、飲料分野等の
各種産業向け排水事業の強化

上期の主な取り組み

◆アセアンエンジニアリングセンター／ アジアプロキユアメントセンターの新設(2013年5月～)

ねらい

電子産業／国内／純水



事業ポート
フォリオ転換

産業全般／海外／純水・排水両輪

- ◆ アジア顧客への対応の迅速化
- ◆ 技術力強化
- ◆ 地域ニーズに合致した
技術・製品の提供
- ◆ コストダウン／価格競争力向上
- ◆ 現地調達リスクの分散

上期の主な取り組み

◆ラウタン・オルガノ・ウォーターの増資

5月にラウタン・オルガノ・ウォーター(インドネシア共和国)の増資を完了し、ベトナム(2012年10月増資)、タイ(2013年3月増資)などの各現地法人とともに事業拡大を推進中

所在地	増資時期	増資前の 資本金	増資金額	増資後の 資本金
インドネシア共和国 ジャカルタ市	2013年5月	60億IDR (約62百万円)	120億IDR (約125百万円)	180億IDR (約187百万円)

※IDR: インドネシアルピア

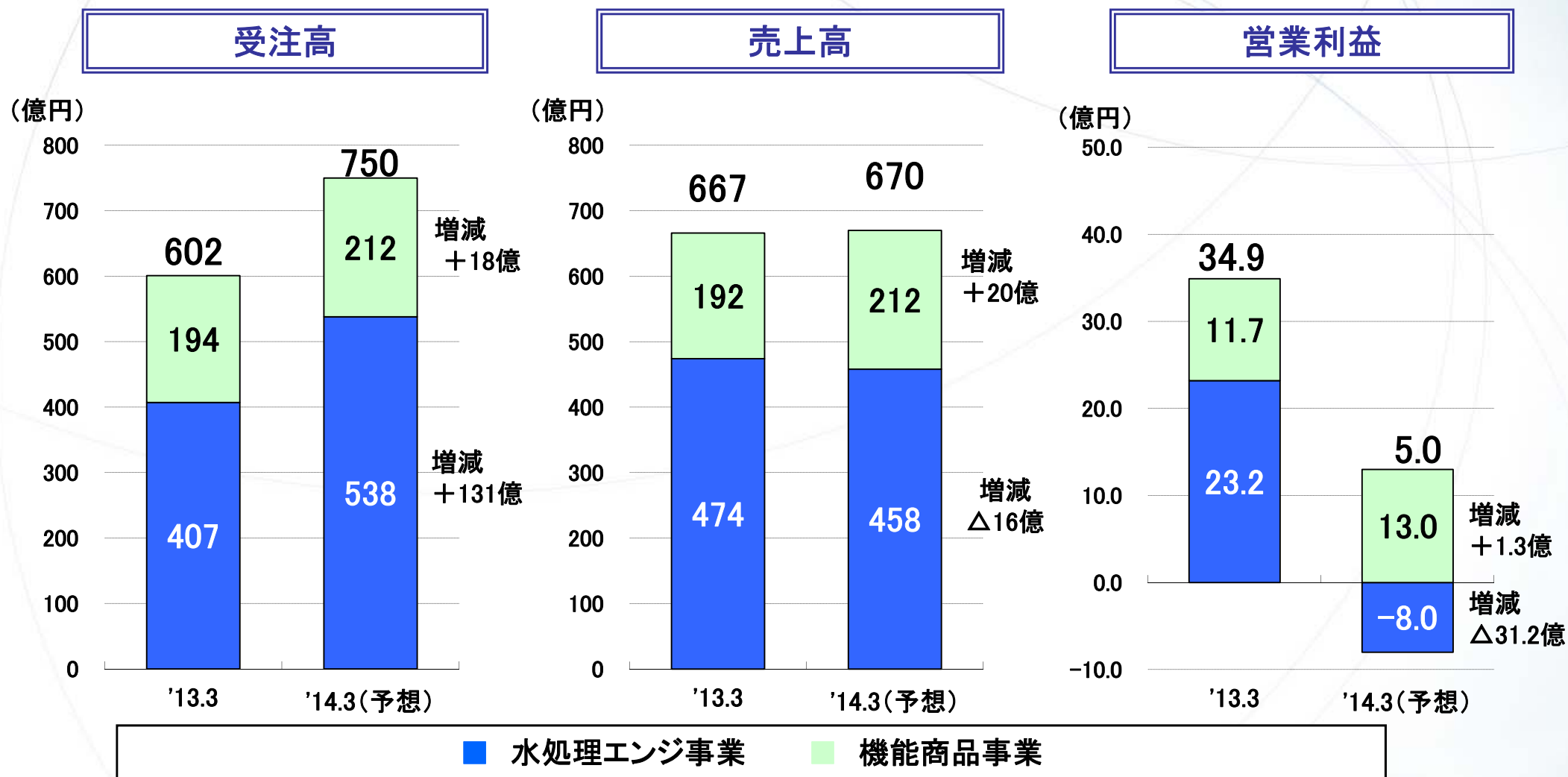
※日本円は増資当時の換算レートで計算

2014年3月期 通期決算予想

(単位:億円)

	13.3 通期	14.3 期初計画	14.3 通期予想	前期比	計画比
受注高	602	750	750	+ 148	+ 0
売上高	667	730	670	+ 3	△ 60
売上総利益 (%)	168 (25.3%)	169 (23.2%)	142 (21.2%)	△ 26 (-4.1pt)	△ 27 (-2.0pt)
販管費	133	139	137	+ 4	△ 2
営業利益	34	30	5	△ 29	△ 25
経常利益 (%)	39 (5.9%)	28 (3.8%)	5 (0.8%)	△ 34 (-5.1pt)	△ 23 (-3.0pt)
当期純利益	25	15	3	△ 22	△ 12

2014年3月期 通期予想(セグメント別)

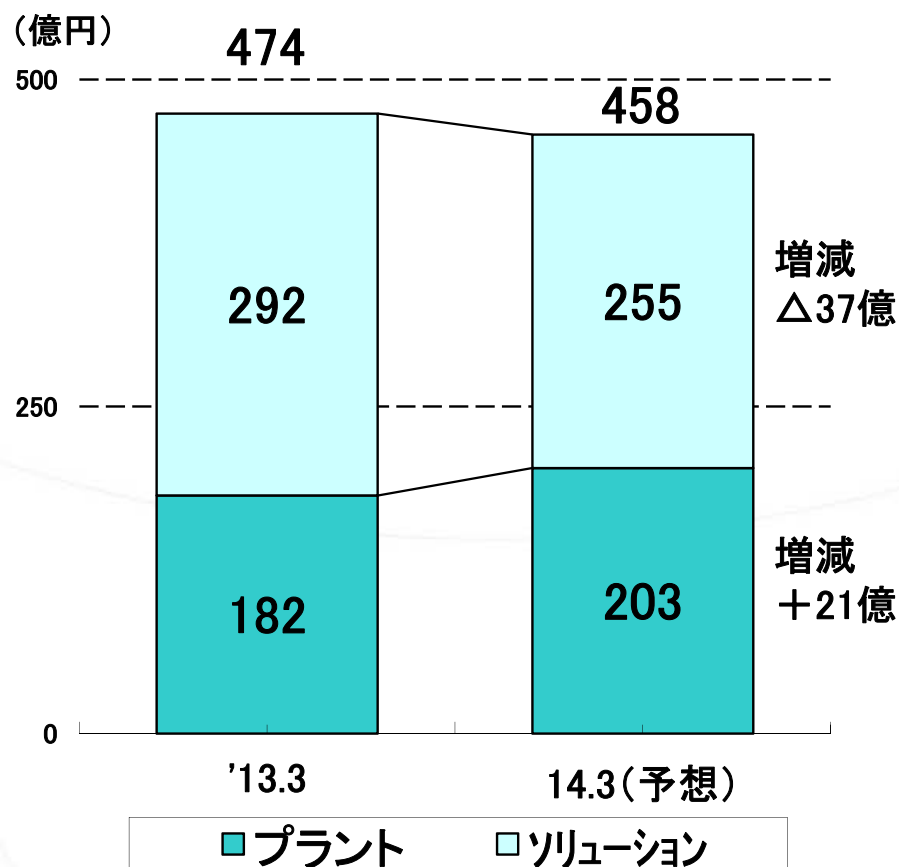


【水処理エンジ事業】：受注高については、海外産業全般や国内食品向けプラント・排水事業分野の伸長などにより増加を見込む一方、売上高については、売上時期が来期以降となる案件が多く減少見込。営業利益については、売上構成の変化や採算性の低下などにより減少を見込む。

【機能商品事業】：新商品の開発やリニューアルなどにより増加を見込む。

部門・顧客別売上高(水処理エンジニアリング事業)

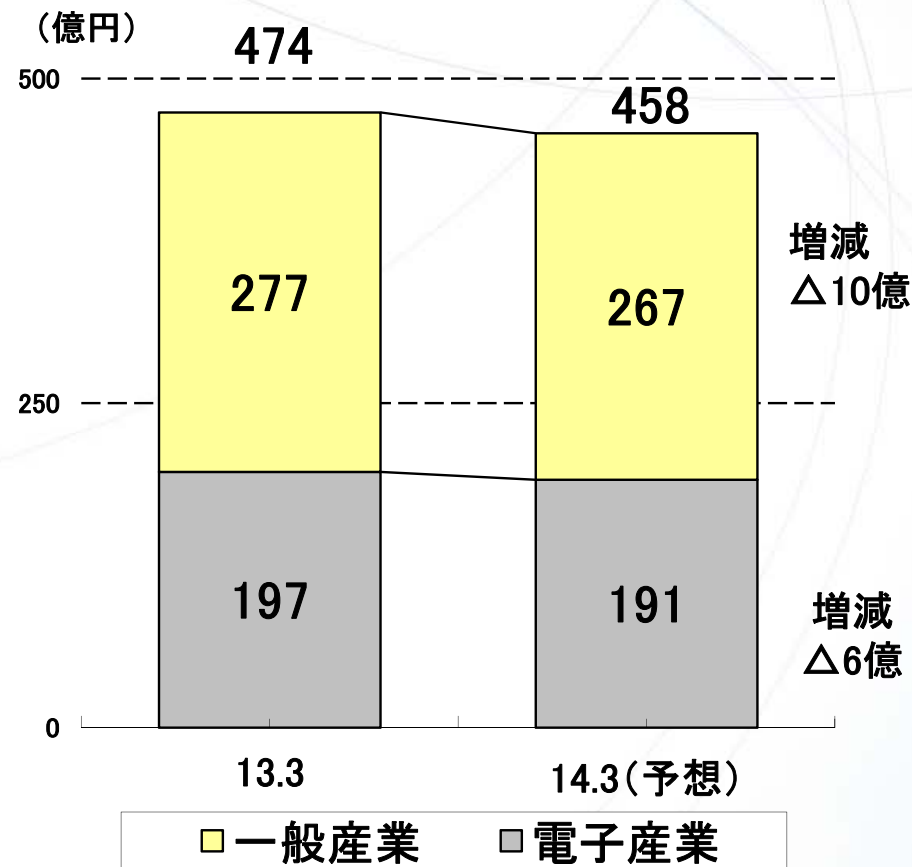
部門別売上高



【プラント】: 海外においては食品向けプラントや電子産業向けプラント、国内においては環境・排水事業分野の伸長などにより増加を見込む。

【ソリューション】: 国内電力分野の落ち目の影響を受け減少を見込む。

顧客別売上高

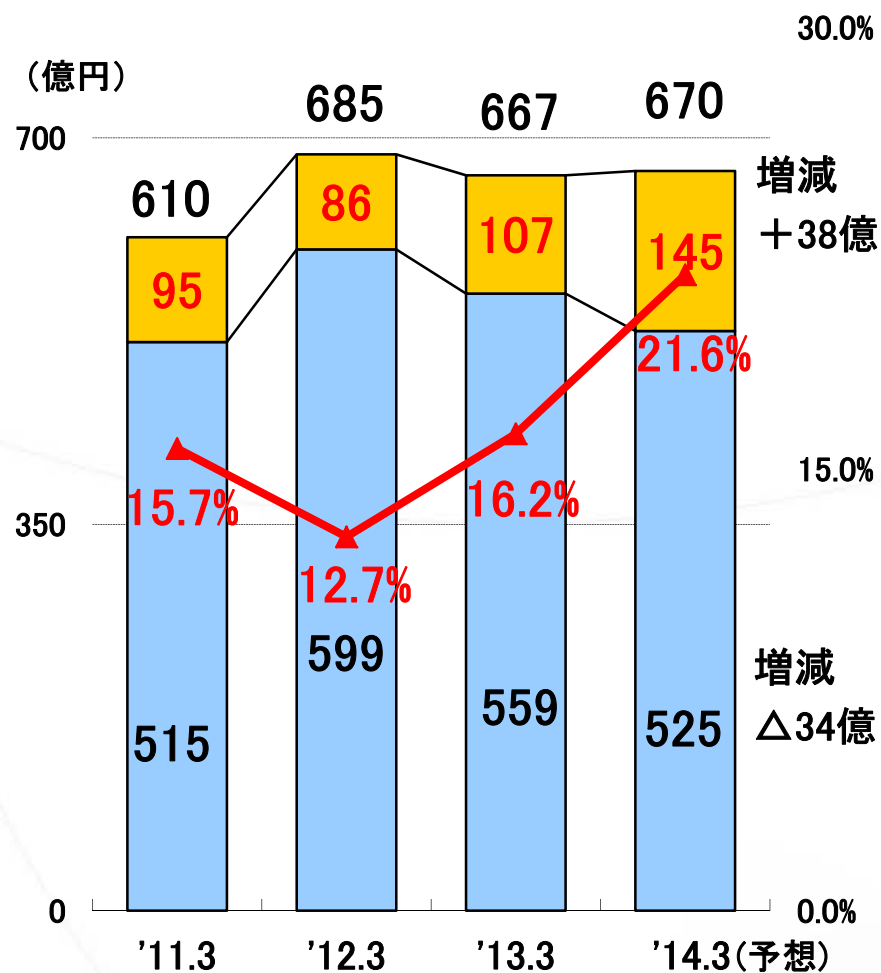


【電子産業】: 海外において設備・メンテ共に増加を見込むが、国内の落ち目の影響が大きく減少を見込む。

【一般産業】: 国内外の食品向けプラントや環境・排水事業分野において増加を見込む一方、国内電力分野の落ち目の影響を受け減少を見込む。

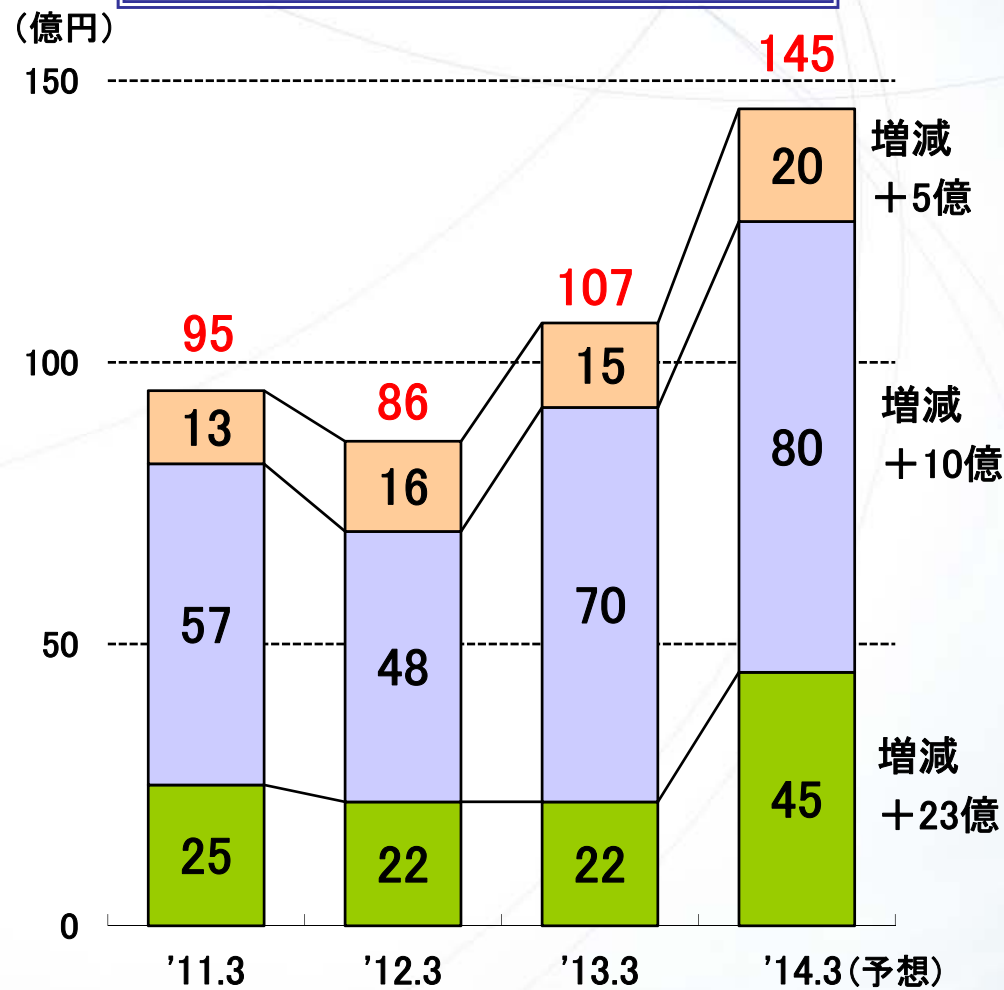
地域別売上高

国内・海外別売上高



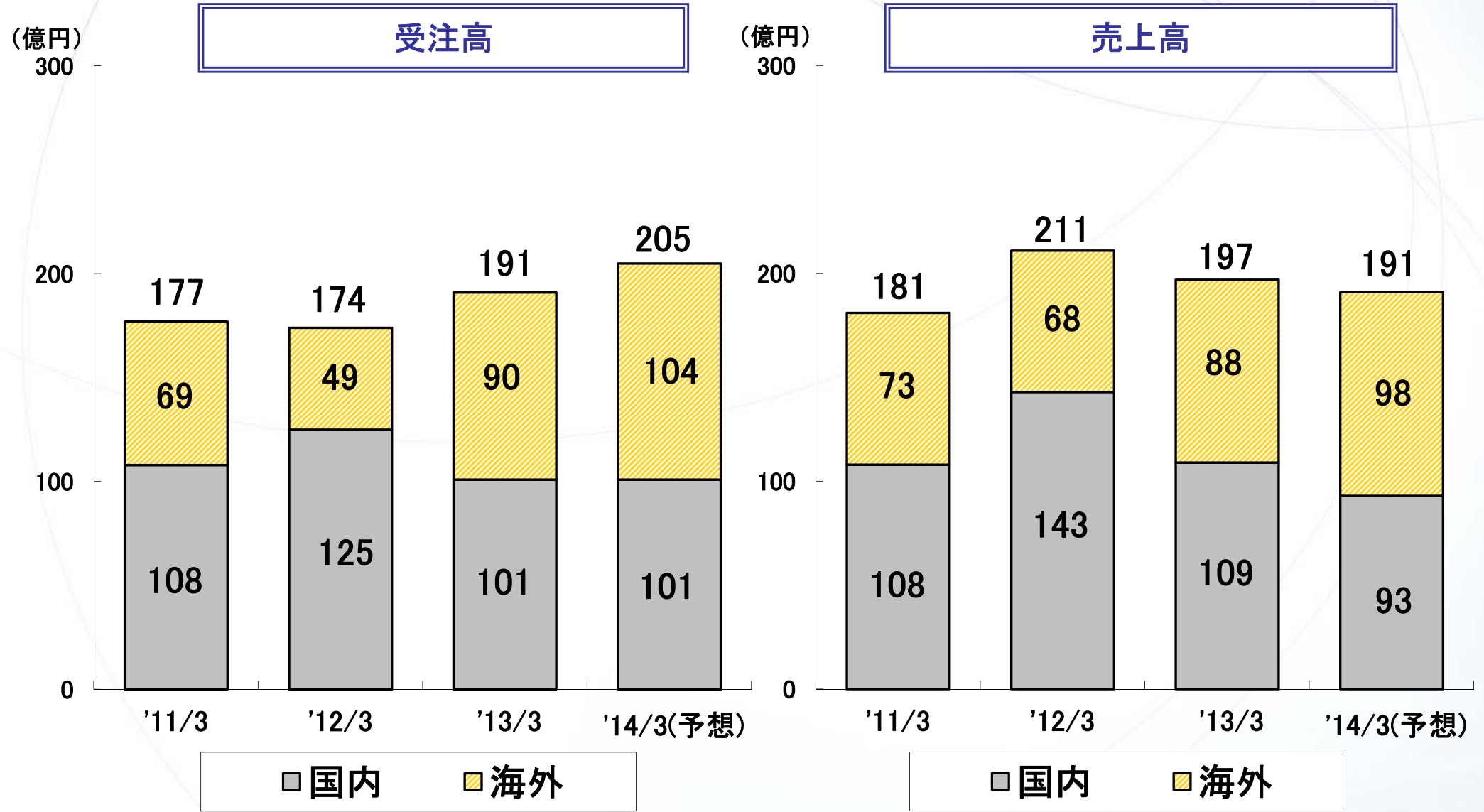
■ 国内 ■ 海外 ▲ 海外比率

海外地域別売上高



■ 東南アジア ■ 台湾 ■ 中国

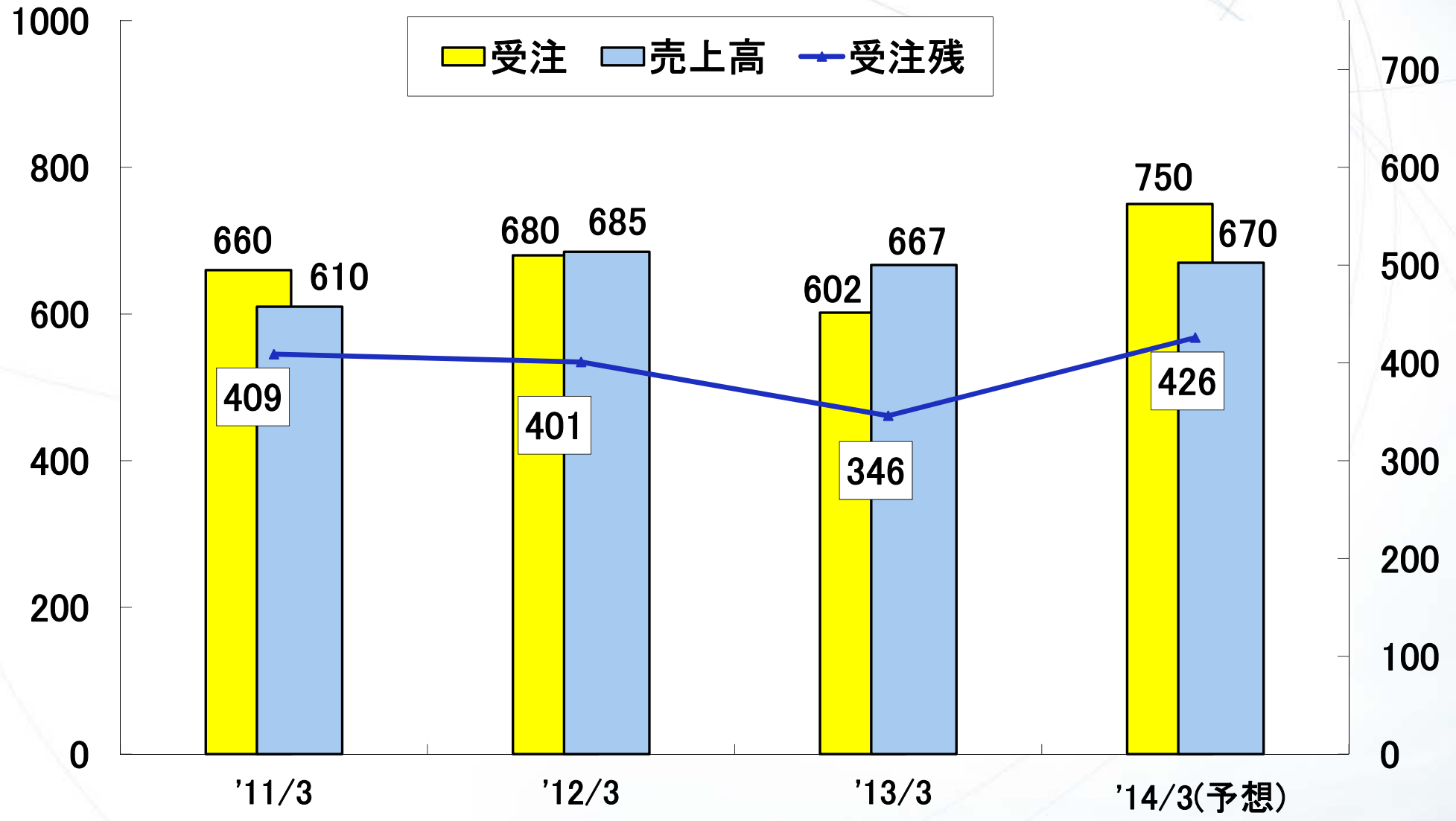
電子産業向 受注高／売上高推移



受注高・売上高・受注残高推移

受注／売上(億円)

受注残(億円)



主な指標

(単位:億円)

	13年3月期	14年3月期(計画)	14年3月期(予想)
設備投資額	7	9	6
技術研究費	16	17	15
減価償却費	11	11	10
有利子負債	149	122	122
従業員数(人)	1,835	1,860	1,880
配当金(円)	12/年間配当	12/年間配当	8/年間配当

今後の取り組み

【国内】

水処理エンジニアリング事業

- 医薬、食品、化学などの一般産業分野における用排水事業の強化
- 電力分野における石炭・LNG火力発電所案件への積極的な対応
- 環境分野における明電舎との協業による受注拡大

機能商品事業

- 購買・製造体制の見直し等によるコストダウンの推進
- 片山ナルコ(株)との協業による薬品事業の拡大

今後の取り組み

【海外】

- 非日系顧客への営業展開強化
- アセアンエンジニアリングセンター、アジアプロキュアメントセンターを中心とした技術力強化・コストダウンの推進
- 東南アジア電力案件対応強化
- 東南アジアにおける事業基盤強化に向けたオルガノアジア（マレーシア）の増資
- 事業拡大強化のためのアライアンス、M&Aの検討

本日はご出席頂きまして
誠にありがとうございました。

(お問合せ先)

オルガノ株式会社

〒136-8631 東京都江東区新砂1-2-8

経営企画部企画グループ(担当 竹井)

TEL 03-5635-5111

FAX 03-3699-7240

URL <http://www.organo.co.jp>

本資料における業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであるため、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績はこれと異なる可能性があります。